



赤磐市立中央図書館

基本設計概要書

重要な公共施設という側面

- 社会性・景観性への配慮（周辺環境と調和した品格あるデザインの採用）
- 安全性（耐震・耐火、その他防災性の確保、防犯性への配慮）
- 環境保全性（長寿命・省エネ・省資源・周辺環境への配慮）
- 機能性（ユニバーサルデザインで適切な室内環境の確保）
- 経済性（高耐久性、メンテナンス性 設備機器や情報機器の更新に柔軟に対応できるフレキシビリティの確保と施設の効率的な維持管理等）

図書館機能を持つ

文化と情報の拠点となる施設という側面

- 大量の資料の活発で有効な利用を可能とする機能性
- 幅広い市民に親しまれる温かさとおくろぎの雰囲気
- 多くの市民の長時間の利用に配慮した快適さと安全度
- 利用者には使いやすく、職員にも働きやすい施設づくり
- 年月を経るにしたがって魅力を増す、図書館らしい文化性

赤磐市という地域に建つ施設という側面

- 赤磐市の歴史・文化・風土への配慮
- 赤磐市の中心ゾーンの景観及び街並みへの配慮

安全で快適な施設

- ①転倒、転落、衝突等のおそれがないこと
- ②地震等の災害に対して安全であること
- ③室内環境（温度、湿度、空気の質、照明、採光、音等）が快適に保たれること
- ④防犯への対策を行うこと

子どもにも大人にも幅広い市民に親しまれ、活発に利用される施設

- ①広々とした開架フロアに、大量の資料が分り易く、利用しやすく配置されること
- ②配置が分り易く動線に配慮されていること
- ③様々な目的を持って来館する利用者に応じた、多様な場を用意する。
- ④地域の人々の交流やサロンとしての利用への配慮

ユニバーサルデザインを取り入れた、利用者も職員も使いやすい施設

- ①さまざまな障害を持った利用者が支障なく利用できる施設
- ②配置、スペース、環境などに配慮した職員にとっても使いやすい施設

環境に配慮した施設

- ①省エネルギーの実現
- ②太陽光など自然エネルギーの利用

赤磐市の中央図書館として魅力に富んだ外部デザインと豊かな外部空間を持つ施設

- ①赤磐市の中核ゾーンのシンボルとなる魅力的な外部デザイン
- ②緑や広場の配置など、敷地を十分活用して豊かな外部空間の形成

メンテナンスしやすく、長寿命の施設

- ①長期間、使い続けることのできる施設
- ②将来的な図書館機能の変化や資料内容の変化・発展に柔軟に対応できるよう、固定壁を最小限にし、書架や家具の設計・配置についても配慮する。
- ③維持管理しやすい施設
- ④ランニングコストの軽減への配慮

緑あるゆとりの空間で、本と人にふれあい、

うるおいの時間と出会う

「ゆとりと潤いに出会う図書館」

- ・低書架と天井高：6.0mの開放的な室内に、やわらかな自然採光が差込む空間づくり。
- ・書架間：2.50m、通路中：1.50mの「ゆったりとした開架スペース」で、本と出会う。
- ・水盤と緑に面した「静かな閲覧スペース」で、ゆっくりと読書を楽しむ。
- ・専門書籍に囲まれた「個室型閲覧席」で、集中した学習時間を過ごす。



西側イメージパース



北側イメージパース

(1) 安全で快適な施設

- ①転倒、転落、衝突等のおそれがないこと
- ②地震等の災害に対して安全であること
- ③室内環境（温度、湿度、空気の質、照明、採光、音等）が快適に保たれること
- ④防犯への対策を行うこと

具体策

- ・開架書架は低書架を基本とし、床にアンカーボルトで固定する。
- ・壁面の高書架は、躯体に固定するとともに、書籍落下防止装置を計画する。
- ・建築基準法に基づいた設計とともに、大地震の安全性については重要度係数：1.1とする。（※岡山県耐震計画標準：Ⅱ類）
- ・空間の大きさに応じた空調設備計画と照度計算等とする。
- ・適所に防犯カメラを設置、夜間は機械警備を計画する。

(2) 子どもにも大人にも幅広い市民に

親しまれ、活発に利用される施設

- ①広々とした開架フロアに、大量の資料がわかりやすく、利用しやすく配置されること
- ②入口や各コーナー、設備の配置がわかりやすく、利用者や職員の動線に配慮されていること
- ③様々な目的を持って来館する利用者に応じた、多様な場を用意する。
- ④地域の人々の交流やサロンとしての利用への配慮

具体策

- ・天井高：6.0m、書架間：2.50m、通路巾：1.50mの広々として利用しやすい開架閲覧スペースを計画する。
- ・1階および2階に、多様な閲覧スペースを計画する。
- ・1階多目的ホールは、交流・展示・集会・研修に対応できるフレキシビリティの高い計画とする。

(3) ユニバーサルデザインを取り入れた、

利用者也職員も使いやすい施設

- ①さまざまな障害を持った利用者が支障なく利用できる施設
- ②配置、スペース、環境などに配慮した職員にとっても使いやすい施設

具体策

- ・施設出入口までのアプローチは、階段のない計画とする。（※緩やかなスロープのみとする。）
- ・館内はバリアフリーとし、2階の準開架書庫や学習閲覧スペースには、階段と車椅子対応型エレベーターを計画する。
- ・だれにでもわかりやすいサイン計画とする。
- ・多目的便所（1ヶ所）や授乳室（2ヶ所）を計画する。

緑あるゆとりの空間で、本と人にふれあい、うるおいの時間と出会う 「ゆとりと潤いに出会う図書館」

(4) 環境に配慮した施設

- ①省エネルギーの実現
- ②太陽光など自然エネルギーの利用

具体策

- ・自然採光を取込むトップライト、自然換気も考慮したハイサイドライトを計画する。
- ・建物の屋根に降った雨を貯蔵し、WC洗浄水や植栽の散水に利用する計画とする。また、渇水時の補給水は井水を検討する。
- ・太陽光発電設備パネル：10kwは、重量軽減が図れる屋根一体型を計画する。
- ・緑化駐車場を含め、敷地緑化率の高い植栽計画とする。
- ・駐車部分を緑化ブロック舗装とし、敷地緑化に努めるとともに、敷地内における雨水排水量の軽減を図る計画とする。

(5) メンテナンスしやすく、長寿命の施設

- ①長期間、使い続けることのできる施設
- ②将来的な図書館機能の変化や資料内容の変化・発展に柔軟に対応できるように、固定壁を最小限にし、書架や家具の設計・配置についても配慮する。
- ③維持管理しやすい施設
- ④ランニングコストの軽減への配慮

具体策

- ・南側住宅との緩衝帯となる管理スペースから、機械室のメンテナンス（機器等の搬出入）ができる計画とする。
- ・将来の電子化に対応するため、児童部門以外の開架閲覧スペースの床はOAフロア対応の床冷暖房システムを検討する。
- ・開架閲覧スペースは、柱のない広い区間とし、将来対応に配慮した計画とする。
- ・ライフサイクルコスト（LCC）の削減を図る様々な計画をする。

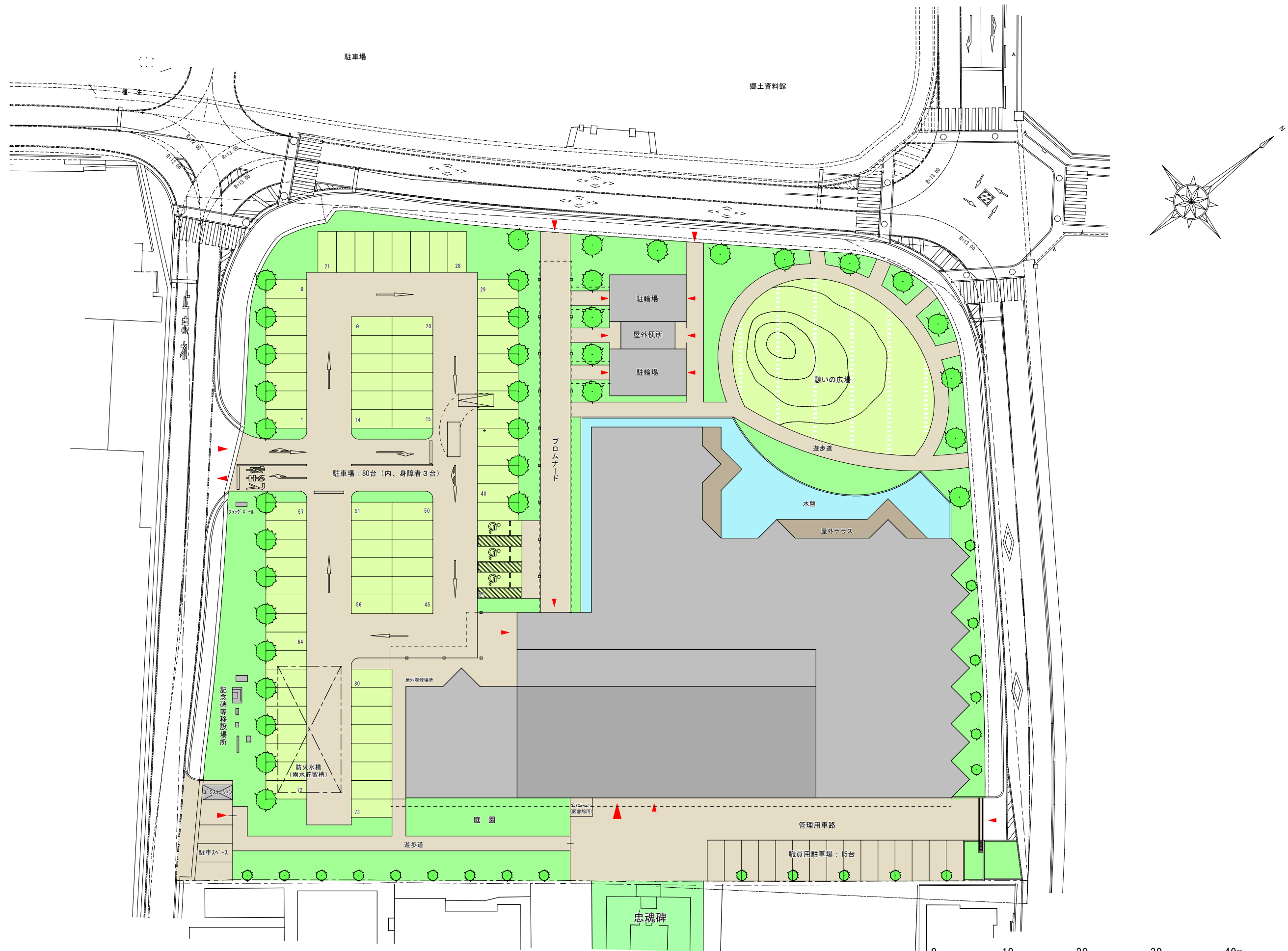
(6) 赤磐市の中央図書館として魅力に富んだ

外部デザインと豊かな外部空間を持つ施設

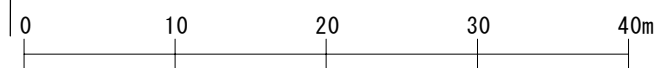
- ①赤磐市の中核ゾーンのシンボルとなる魅力的な外部デザイン
- ②緑や広場の配置など、敷地を十分活用して豊かな外部空間の形成

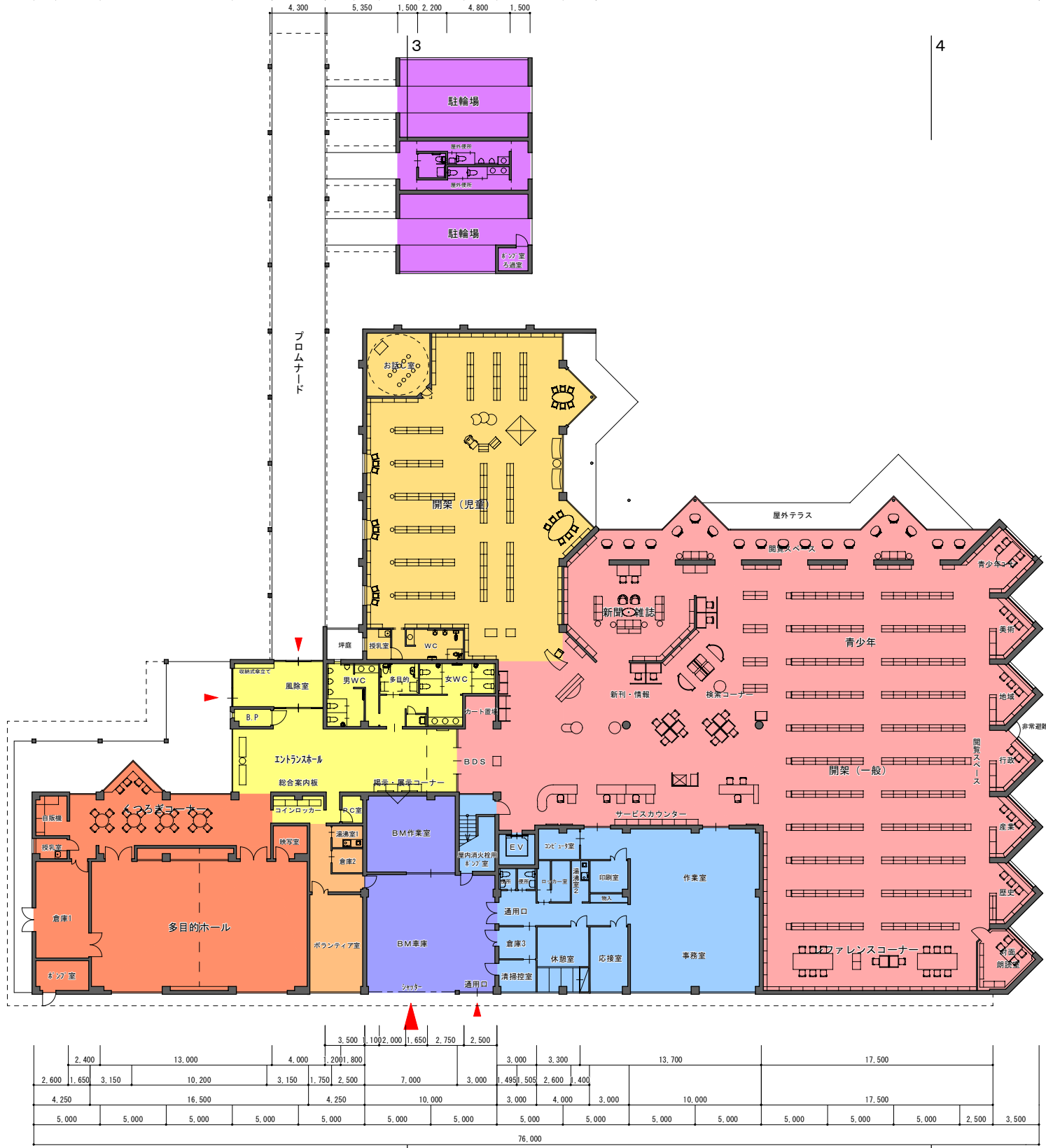
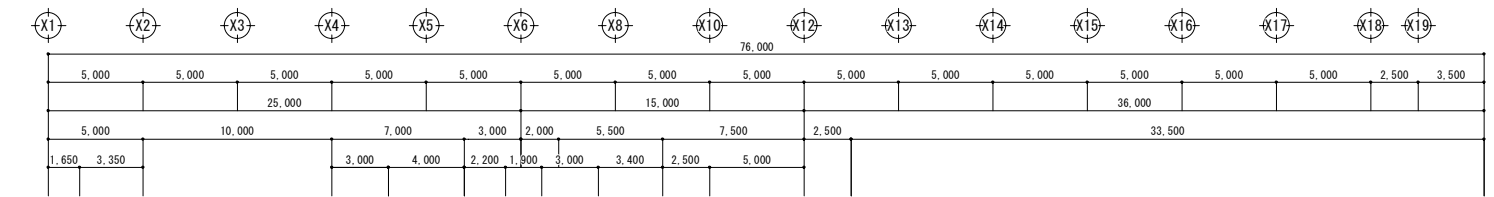
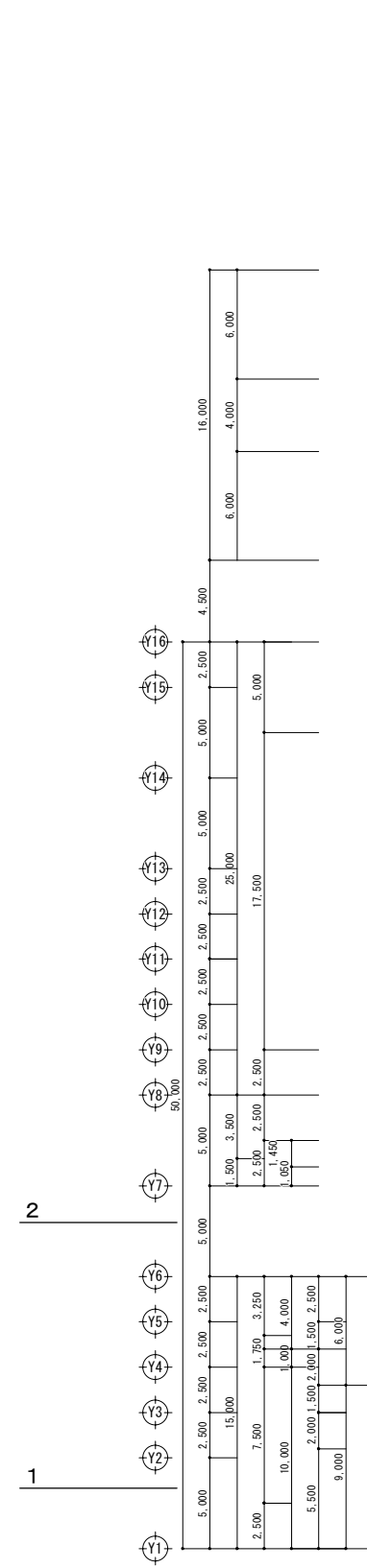
具体策

- ・周辺施設（市役所・公民館等）との調和に配慮した、上品な質感を醸し出す「白いタイル張り」と、地場の石造構築技術の継承を連想させる「割肌の花崗岩張り」の外観デザインを計画する。
- ・憩いの広場は、地域の公園を目指し、遊歩道の整備や常緑樹や広葉樹を織り交ぜた四季の彩りを感じられる植栽を計画する。
- ・適所に外灯やベンチなどを配置し、市民の集う広場づくりに努める計画とする。
- ・図書館との緩衝帯と管理区画を兼用する水盤を配置し、水辺と緑が創り出すやすらぎ空間を演出する計画とする。

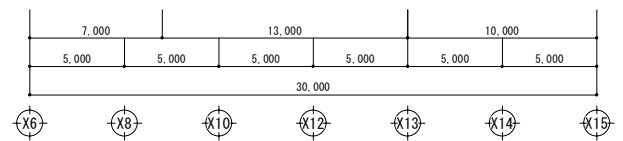
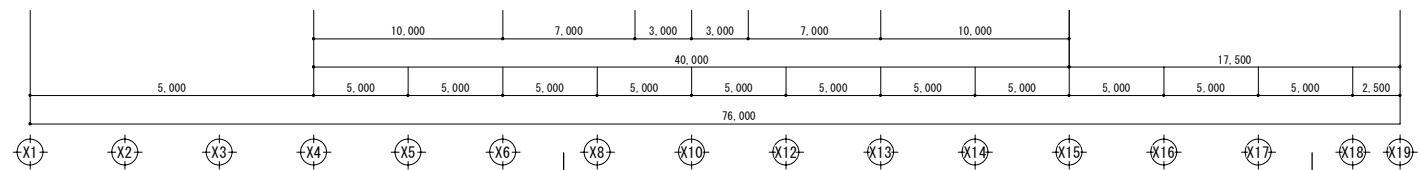
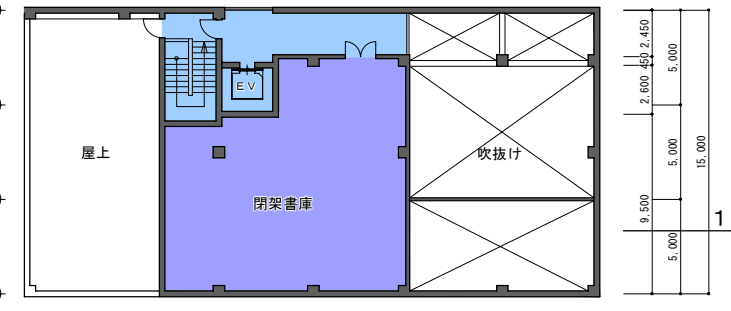
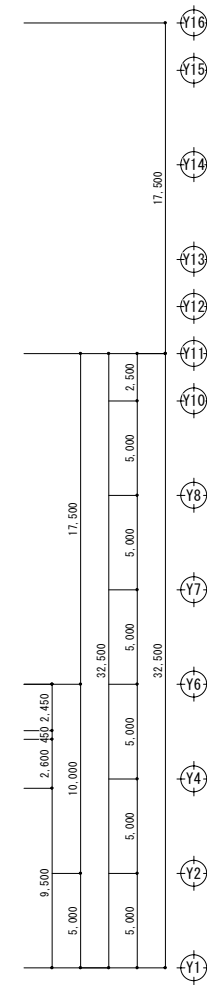
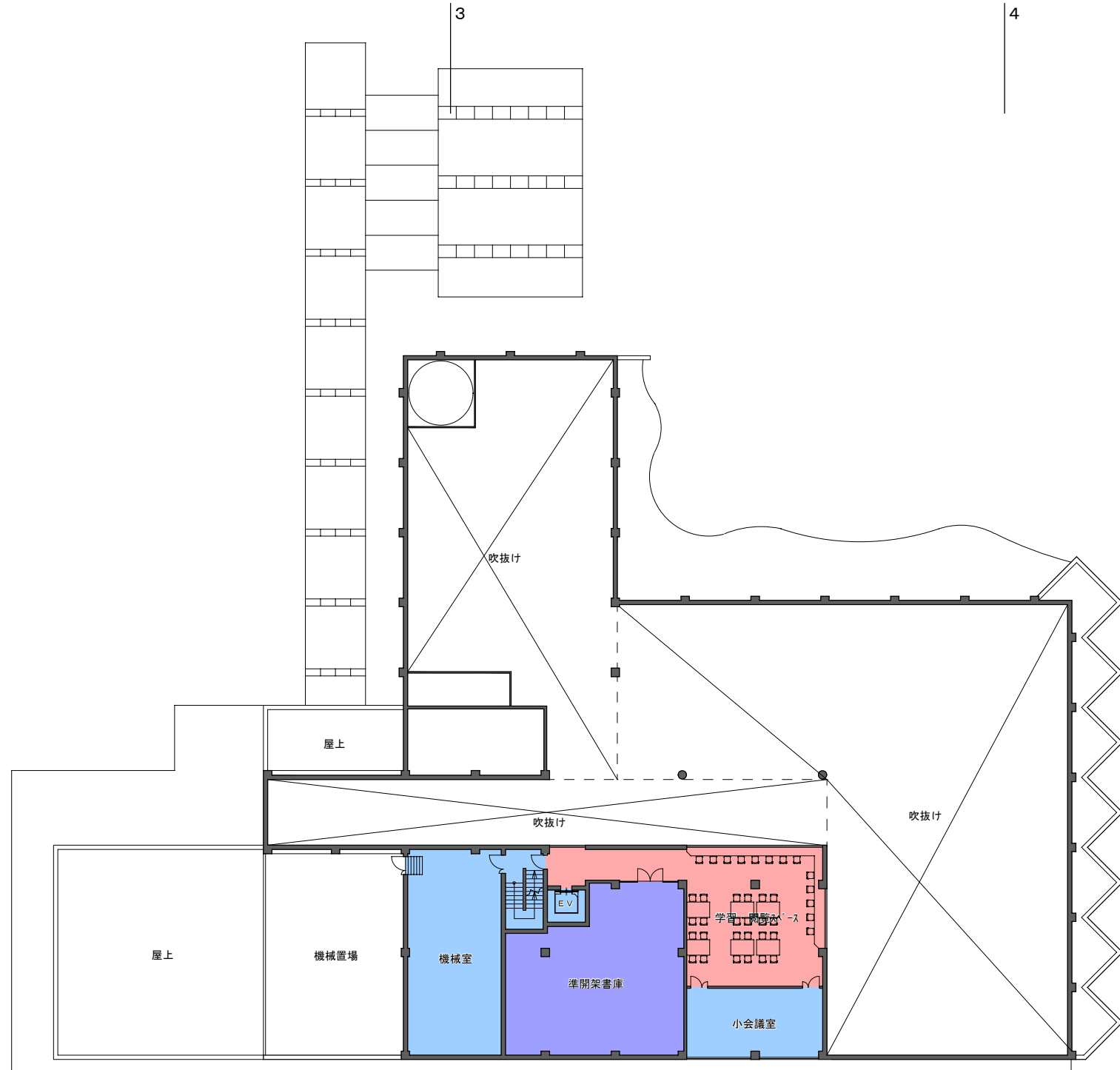
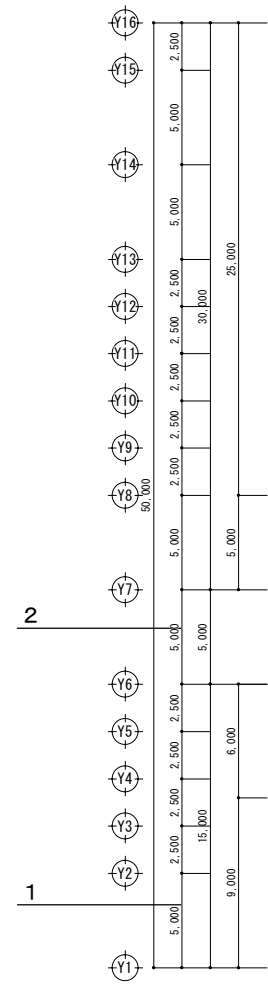
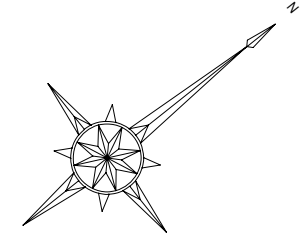
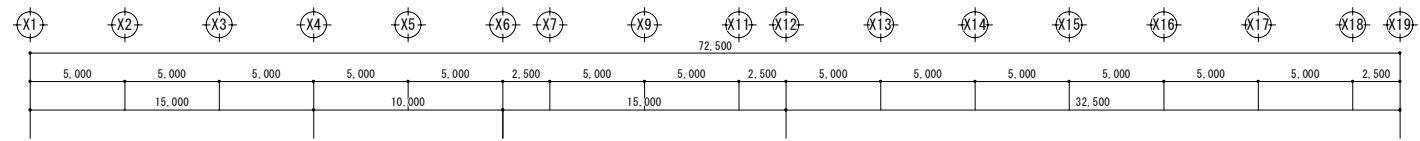


配置図 S=1/500



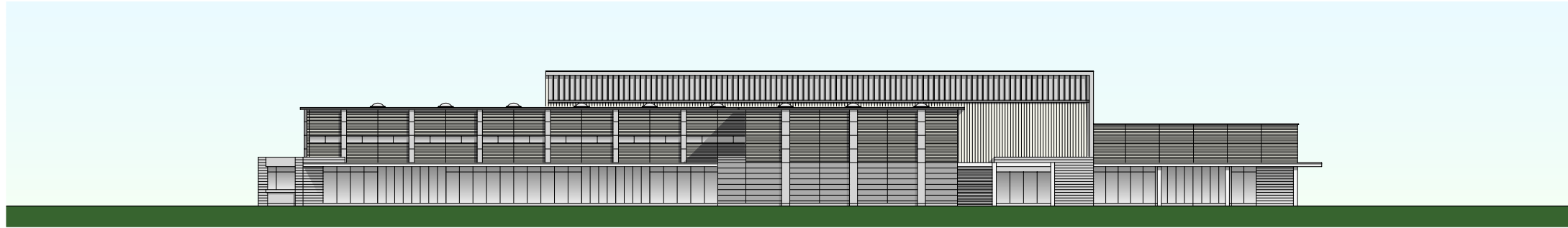


1階平面図 S=1/400

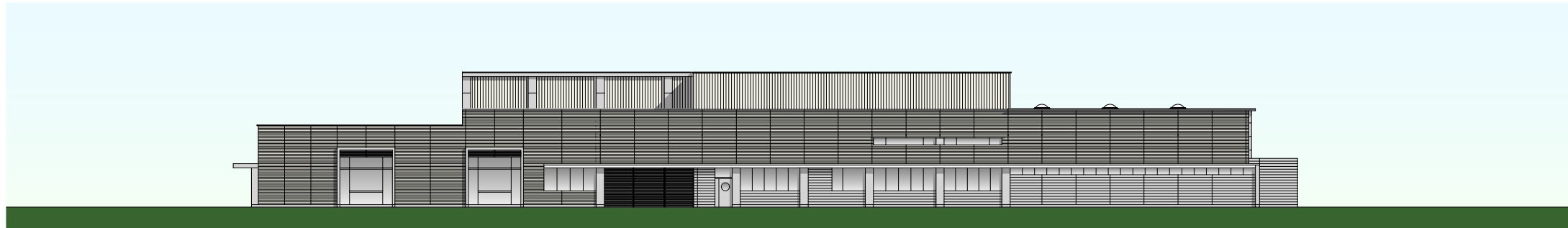


2階（下層）平面図 S=1/400

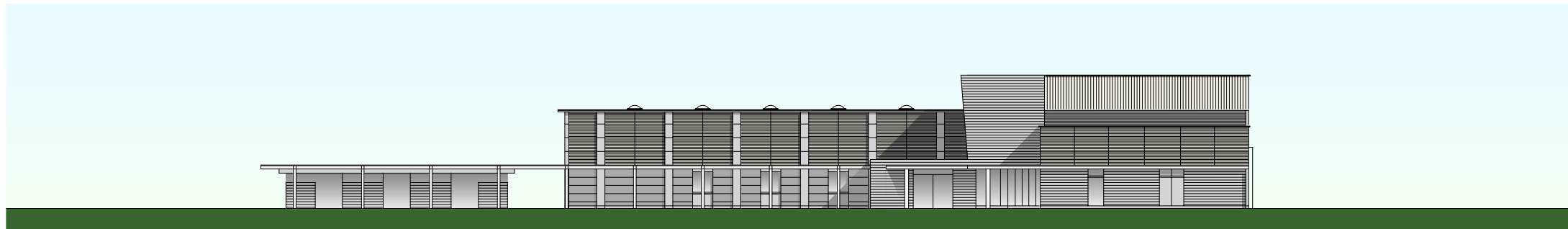
2階（上層）平面図 S=1/400



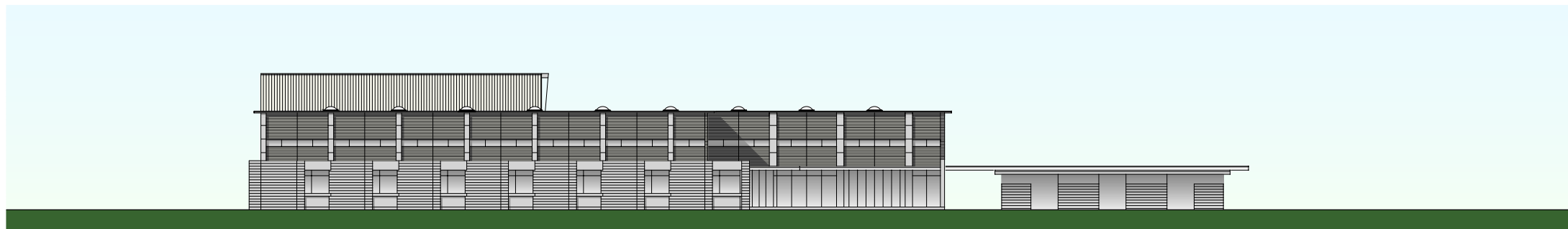
北側立面図 S=1/400



南側立面図 S=1/400



西側立面図 S=1/400



東側立面図 S=1/400

配置計画

- ・ **建物**：北からの間接光を確保する位置に閲覧室を配置し、道路から図書館の雰囲気が憩いの広場を通して感じられる計画とする。管理動線は東南部からの出入とし、一般動線との交差を避けると共に、南側住宅との緩衝帯を兼用する。
- ・ **駐車場**：公民館等の駐車場と一体利用を考慮し、イベント空間にも利用できる緑化駐車場とする。駐車場出入口は、南西側拡幅道路の1ヶ所とする。身障者用駐車場は玄関近くに配置し、雨に濡れずに施設に出入できる計画とする。
- ・ **プロムナード**：歩道から入口まで屋根を設置し、自然採光も取込む。駐輪場・屋外便所へも接続し、施設利用者の利便性を図る。
- ・ **歩道**：街路樹を整備することにより、緑と安全を街に提供し、新しい市役所通りの風景を創り出す計画とする。敷地境界（歩道際）には街路樹の他に、約1.0～1.2mの灌木を配置し、敷地内への出入口を数カ所に限定する。外灯は、タイマー制御による点灯方式とし、点灯時間については、地元協議の上、決定とする。
- ・ **憩いの広場**：閲覧空間に面し、ベンチなど屋外読書空間にもなる計画とし、地域に豊かな緑を提供する。南西部の植栽帯は、近隣住宅との緩衝帯となる緑地と記念碑等の移設を組合せる。
(※ゴミステーション設置ヶ所との調整が必要)



緑化駐車場



憩いの広場

書架計画

- ・ 本が主役となる展示型書架を計画し、壁面以外は低書架を基本とした配置構成により、開架室内を見渡せる開放的な空間を創ります。
- ・ 展示台にも転用できる可動棚や分り易いサイン計画など、関係者の方々のディテールに関する意見を取り入れた「完全オーダーメイド」の書架とする為、実施設計にて詳細な協議を行う。書架構造は、耐震性に優れた「木金混合据置書架」とする。
- ・ 児童が楽しく本とふれあえる楽しい空間づくりを演出する。
- ・ 書架間：2.50m、通路巾：1.50mとし、ゆったりとした空間を計画する。



広い書架間



展示型書架



児童開架スペース

平面計画

- ・ **エントランスホール**：館内に入ると正面に、プラズマディスプレイによる総合案内盤を配置する。図書館入口横の壁面に、掲示・展示コーナーを計画する。
- ・ **多目的ホール**：図書館の休館日・閉館後にも利用可能な計画とし、室内は、交流・展示・集会・研修へと、様々な変化に対応できるフレキシビリティの高い計画とする。室内出入口に面した、くつろぎコーナーはホワイエにも対応する空間とし、喫煙コーナーは屋外に計画する。
- ・ **BDS**：1ヶ所のみとし、サービスカウンターに隣接して計画する。BDS横には、ブックカート置場を確保する。
- ・ **児童動線**：大人との交差を避け、声が伝わり難い配置とするが、ガラス間仕切壁により、開架閲覧スペースは一体感のある空間構成とする。
- ・ **児童用カウンター**：通常はメインカウンターのみで管理が可能な見通しのよい計画とする。
- ・ **児童開架スペース**：プロムナードに面した壁面には、室内の様子が見えがえる窓を設置する。
- ・ **一般開架スペース**：新聞雑誌コーナーは、ブラウジングコーナーとして独立した空間とする為、ローパーテーションで区画する。
- ・ **お話の部屋**：日常は開放して読書コーナーとし、調光照明やスポットライトにより、様々な演出を可能にする計画とする。
- ・ **閲覧席**：北側からの間接光を取り入れ、1人席・大型テーブル席・ソファ席・カウンター席など、様々な読書コーナーを設置する。
- ・ **青少年コーナー**：自由な掲示ができるフリーボードやグループ学習などの集会室にもなる読書室を設置する。
- ・ **対面朗読室**：建具は防音仕様とし、録音室を兼用する計画とする。
- ・ **ボランティア室**：図書館閉館時の施設利用を想定した平面計画とする。
- ・ **授乳室**：外部からの自然採光が確保できる平面計画とする。また、図書館閉館時の施設利用を想定し、計2室を配置する。
- ・ **2階保存書庫**：2層式書架を採用し、下層を準開架書庫、上層を閉架書庫(集密書架)とする。
(※上層は建築基準法上、3階扱いとなる。)



児童開架壁面



閲覧席



個室型閲覧席